

勸善懲惡錦画面

第廿八號

母を王子に見せしむる三十日の月を見るにつけ眞実有契情の一語を聞き新町通り二丁目高橋某の娼婦若鷺といふ者の親里へ河波墜下通り目よて父ハヤク世を去り母ハ老年尼ハ多病貧苦まさせまて

遊女とけりか過る手
遊女とさせんやうの
御布告まてんやう
親りと歸れども人ませ水増
や却て一人の口かふへまやう貧苦を
しよてまそれぬ業の賃洗濯するあり
まは母兄まてんやう笑意を賞美して
或は且那家が世話してやれといへど若鷺
我知せむ今お客をとりては是迄の親方
義理たぐと貧苦の中より義をまの其
真意を高橋が聞て大い感動入我家へ
時より元の如く娼婦は其得る所の金を
こみく若鷺はあつた是よりよめ若鷺
ハ女を安穩に養ふとめこれ孝子の徳とい



時男今も述
心と本
の若鷺



本町時習
藤井時習
習全

勸善懲惡錦画面図解28号 文庫10-8072-11

